

みなとオアシスのトピックス

函館マリンフェスティバル2016を開催【みなとオアシス函館】

7月23日(土)～24日(日)の両日、「みなとオアシス函館」の構成施設である函館市国際水産・海洋総合研究センターと緑の島を会場に、函館マリンフェスティバル 2016 が開催されました。両日も風はありましたが、まずまずの天候の下での開催となり、多くの親子連れでにぎわいを見せていました。

23日は函館みなとパネル展、ヨットの試乗体験、海藻おしぼ講座、海のサポーターたちによるものづくり体験等が実施され、普段なかなか経験の出来ない魚拓や顕微鏡スケッチなどに挑戦していました。

24日にはミネソタ大学美術学部の中島准教授の講演会や MARE(マーレ)海を学ぶ体験型教育プログラム、函館港で活躍する官庁船見学会などが催され、多くの市民が参加されました。官庁船見学会には北海道漁業取締船「海王丸」や函館水産試験場「金星丸」、北海道開発局の「みずなぎ」が参加し、クイズラリーも開催され、親子連れで大賑わいでした。

「みずなぎ」による「みなと見学会」では、函館港湾事務所の職員が函館港の各ふ頭の役割等について説明し、乗船者はその説明に耳を傾けていました。23日は大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が函館港に寄港していたため、船上から間近に見ることができ、その大きさに歓声があがっていました。北海道開発局のみなとキャラクター「ぼーとん」と「べいくりん」も登場し、会場の盛り上げに一役かっていました。

また、24日は第2会場となる緑の島会場で「はこだてマリンラーニング」が開催され、子供たちによるイカ飯作り体験や、かいそうランド(海藻万華鏡作成)などが催され、子供たちが自分で作ったイカ飯をおいしそうにほおぼっていました。子供たちは夏休み最初の週末を海と親しみ満喫していた様子でした。



パネル展の様子
(函館開発建設部)



みなと見学会の様子
(函館開発建設部 港湾業務艇)



船上から望むダイヤモンド・プリンセス
(函館開発建設部 港湾業務艇)



イカ飯作り体験の様子
(はこだてマリンラーニング)